# 令和6年度 中津川市ゼロカーボンシティ推進補助金 -手続きガイド-

受付期間:令和6年4月1日~令和7年3月21日

※予算内での先着順となります。

受付場所:環境政策課窓口(中津川市役所水道分室内)

※工事着手前に申請が必要です。

中津川市では、「豊かな自然エネルギーを活かしたゼロカーボンシティ (脱炭素社会)の実現」を目指し、以下の地球温暖化対策設備等を設置 (工事)または導入する方に対し、設置費用の一部を補助します。

#### ■補助対象設備等■

①太陽光発電システム 1kW 当たり1万円 (上限4kW)。家庭用のみ。

②蓄電システム(蓄電池) 1 kWh 当たり1万円(上限 10kWh)。家庭用のみ。

※新設もしくは既設の太陽光発電システム又は燃料電池システムと連系していること

- ③燃料電池システム(通称:エネファーム) 1基につき 10万円。家庭用のみ。
- ④V2H 充放電設備 1 基につき 10 万円。家庭、法人。
- ⑤次世代自動車 1台につき10万円。個人、法人。
  - ※電気自動車及びプラグインハイブリット自動車の場合は、太陽光発電システム又は V2H 充放電設備を既に導入している場合または同一年度に導入する場合に限る。
- ⑥小水力発電システム 設置費用(税抜)の 1/3 以内の額(上限 15 万円)。個人、法人等。
- (7)木質バイオマスストーブ 設置費用(税抜)の1/3以内の額(上限5万円)。家庭、法人等。

#### ■補助対象者■

- ・中津川市税等の滞納のない者
- ・実績報告時に中津川市内に住所を有している者
- ・過去に同一設備への補助金の交付を受けていない者
- ・令和6年4月1日~令和7年3月20日までの間に補助対象設備に係る工事着手から設備 及び導入等を完了する者

※本ガイドは、⑥小水力発電システム以外に関する補助金の手続きガイドです。

#### 【担当】

中津川市役所環境水道部環境政策課 電話 0573-66-1111 (内線 541, 542, 543)

## ■補助要件■

補助対象設備	主な補助要件
①太陽光発電システム	・1kW あたりのシステム価格(税抜き)が 30 万円を超えない
(家庭用)	ものであること。
	・発電出力が 10kW 未満であること(太陽電池モジュールの合
	計出力とパワーコンディショナの出力のいずれか小さい方)。
	・自らが居住する市内の個人住宅 (別荘を除く。) に設置する者。
	・発電した電気が申請者本人の居住する住居の配電系統に接続
	され、宅内での消費がされること。
	・連系された低圧配電線に、余剰の電気が逆流されるシステム
	であること。
	・当該年度にシステムの設置が完了(電力会社との電力受給契
	約)すること。
②蓄電システム	・一般社団法人環境共創イニシアチブに登録された定置用の蓄
(家庭用)	電システムであること。
	・同一年度の新設若しくは既設の太陽光発電システム又は燃料
	電池システムと連系していること。
	・自らが居住する市内の住宅(別荘を除く。)に設置する者。
③燃料電池システム	・一般社団法人燃料電池普及促進協会に登録リストに登録され
(通称:エネファーム)	たシステムであること。
(家庭用)	・寒冷地仕様であること。
	・自らが居住する市内の住宅(別荘を除く。)に設置する者。
④V2H充放電設備	・一般社団法人次世代自動車振興センターの補助対象V2H充
	放電設備として登録された設備であること。
	・自らが居住する市内の住宅(別荘を除く。)に設置する者。
	・市内に1年以上本社、支社、支店、営業所等を置いている建
	物に、所有者の同意を得て設置する法人。
⑤次世代自動車	・電気自動車、プラグインハイブリッド自動車及び燃料電池自
	動車のうち、一般社団法人次世代自動車振興センターの補助対
	象車両に登録された車両であること。
	・各年度の4月1日以降に当該次世代自動車を新車登録し、自
	動車検査証の使用の本拠の位置が「中津川市」であること。
	・初年度登録時点で、市内に住宅を所有し、かつ、当該自動車
	の自動車検査証に使用者及び所有者として記載された個人。
	・初年度登録時点で、市内に一年以上本社・支社・支店・営業

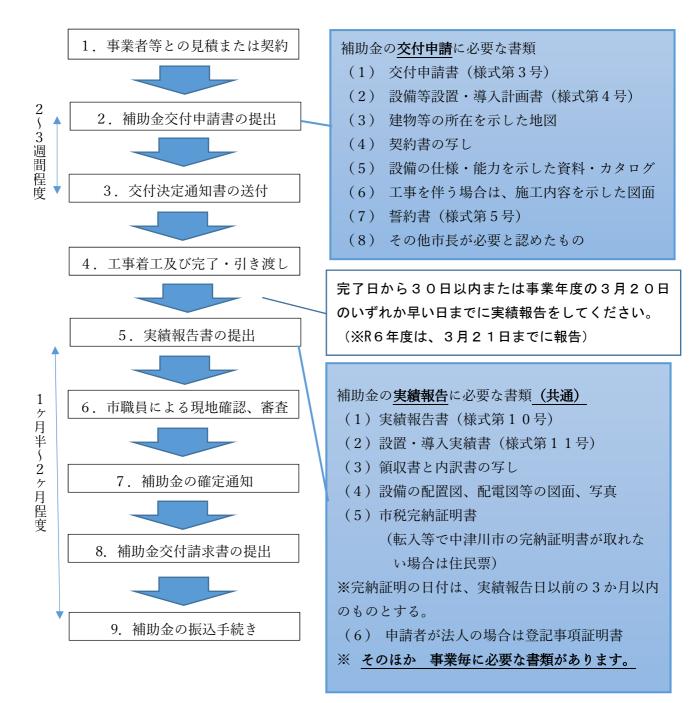
	所等を置き、かつ、当該自動車の自動車検査証に使用者及び所
	有者として記載された法人であること。
	・補助金交付後6年間は、補助金受給者により市内で使用、管
	理されていることが確認でき、かつ毎年度末時点での走行距離
	を市に報告できること。
	・電気自動車及びプラグインハイブリット自動車については、
	太陽光発電システム(1kW)または V2H 充放電設備と同一年
	度内に導入するか既に導入している場合に限る。
⑥小水力発電システム	・水の落差と流量を利用して発電するシステムで、市内に設置
	するものであること。
	・発電出力が、200kw未満であること。
	・関係する地域において説明会を行うとともに、書面により地
	域からの同意が得られていること。
⑦木質バイオマススト	・薪または木質ペレットを燃料とする暖房機であること。
ーブ	・消防法や建築基準法等の関連法規に従った施工により設置さ
	れていること。
	・自ら居住する市内の住宅(別荘を除く。)に設置する者。
	・市内に1年以上本社、支社、支店、営業所等を置いている建
	物に、所有者の同意を得て設置する法人。
	・市内に設置する市内の自治会。

※リース品・使用済み品は補助対象外です。

#### ■手続きの流れ■

事業の着工(着手)前に申請が必要です。市から交付決定通知書を受け取ったのちに、工事(導入)が可能です。

予算枠に達した時点で、補助制度受付終了となります。



※補助金の交付決定通知後に、事業内容を変更又は中止するときは、変更・中止申請書を提出し、承認を受ける必要があります。変更内容が補助要件に該当しない場合は、交付決定が 取消しとなる場合があります。

### ■実績報告に必要な個別資料■

実績報告に必要な書類(共通)とともに、次の個別資料を揃えて提出すること。

補助対象設備	提出書類
①太陽光発電システム	ア)設備の保証書の写し(保証の開始日が確認できる書類)
	イ)太陽電池モジュールの製造番号及び出力特性を示したもの
	ウ) 太陽電池モジュールの合計出力が 10kW 以上の場合は、パ
	ワーコンディショナの出力を示す書類
	エ)発電設備が連系されたことを示す書類の写し
	オ)設置状況を示す写真(モジュール、電力メーター、パワー
	コンディショナ及びモニターシステムを含む)
②蓄電システム	ア)設備の保証書の写し(保証の開始日が確認できる書類)
	イ)発電した電気が蓄電され、住宅において自家消費されるシ
	ステムであることが確認できる書類
	ウ)接地面及び壁面への固定が確認できる書類
	エ)設置状況を示す写真(蓄電池本体、型式及び製造番号が確
	認できる銘板等)
③燃料電池システム	ア)設備の保証書の写し(保証の開始日が確認できる書類)
	イ) 寒冷地仕様であることが確認できる書類
	ウ) 設置状況を示す写真(燃料電池ユニット及び貯湯ユニッ
	ト、型式及び製造番号が確認できる銘板等)
④V2H充放電設備	ア) 設備の保証書の写し(保証の開始日が確認できる書類)
	イ) 既に保有する電気自動車等の概要が分かる書類(電気自動
	車等に積載された蓄電池等の容量が確認できる書類を含
	む)
	ウ) 設置状況を示す写真(型式及び製造番号が確認できる銘
	板、本体と次世代自動車とが接続されていると確認できる
	ことが分かる写真)
⑤次世代自動車	ア) 導入車両の自動車検査証・自動車検査証記録事項の写し
	イ) 自動車保管場所証明書の写し(軽自動車においては、保管
	場所の位置を示す地図等)
	ウ) 導入車両の写真(車体本体、ナンバープレート、検査標章・
	車検ステッカー、V2H 充放電設備と導入車両とが接続され
	ている写真)
	エ)太陽光発電システムを設置している場合は、発電した電気

	を優先的に次世代自動車へ蓄電するための配電工事を行
	ったことが分かる書類等。
⑥小水力発電システム	ア) 設置工事等に伴う最終的な設計書及び積算書
	イ)設置工事等に関する工事写真及び完成検査写真
	ウ) 設置工事等に関する完成図面
⑦木質バイオマススト	ア) 保証書の写し(保証の開始日が確認できる書類)
ーブ	イ)設置状況を示す写真(新品であることがわかること、耐火
	施工の状況が分かる写真であること)

※その他詳しくは、「中津川市ゼロカーボンシティ推進事業補助金交付要綱」あるいは「中 津川市公式ホームページ」にて確認してください。





中津川市環境政策課 0573-66-1111 (内線 541, 542, 543)

中津川市公式ホームページ http://www.city.nakatsugawa.gifu.jp/

トップページの便利なサービス「申請書ダウンロード」⇒「環境保全」⇒「中津川市ゼロカーボンシティ推進補助制度」

HP QRコード

